

## SRS 220A SRS 210A SR 200A

EN011U075 (2111L-DC)

① [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れ、[on▼] または [▲SET] ボタンで変更する機能を選び、[CUE] ボタンを押します。

② 次に [on▼] または [▲SET] ボタンで変更したい内容を選び、[CUE] ボタンを押して確定します。

③ PTT (通話) スイッチを押すと設定が完了してチャンネル表示画面に戻ります。

項目	機能	選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
<b>GRP</b> <sup>SET</sup>	グループ機能の ON/OFF “ON” にすると、グループコードが一致した場合のみ音声聞こえるようになります。他のグループの通話が聞こえてわずらわしい時に使用します。	ON / OFF
<b>GRP</b> <sup>CD</sup>	グループコード 同じグループコードが設定された信号以外の音声は聞こえなくなります。	GP01 ~ GP50 D017 ~ D754
<b>BE</b> <sup>EP</sup>	ビープレベル トランシーバーの操作を行った時に鳴るビープ音の音量を調節します。 1 / 2 / 3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。 L1 / L2 / L3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。また音量ツマミに連動してビープの音量が変わります。 OFF : ビープ音は鳴らなくなります。	OFF / 1 / 2 / 3 / L1 / L2 / L3
<b>DI</b> <sup>SP</sup>	画面表示の設定 ON : 常に画面は表示された状態になります。 2 : トランシーバーの操作が終わってから約 2 秒後に画面の表示が “—” になります。トランシーバーの操作を行うと再び画面が表示されます。	ON / 2
<b>LAMP</b> <sup>SET</sup>	バックライトの ON/OFF 2 : 各ボタンを押すと画面の照明ランプが約 2 秒間点灯します。 OFF : 照明ランプが点灯しなくなります。	OFF / 2
<b>PTT</b> <sup>SET</sup>	PTT (通話) スイッチの動作設定 NOR : PTT スイッチを押している間送信状態になります。 HOLD : 一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。 OFF : PTT スイッチが無効になり、送信できません。	OFF / NOR / HOLD
<b>TX</b> <sup>SP</sup>	送信開始 / 終了ビープ音の ON/OFF END : 送信を終了した時に “ブツ” というビープ音を鳴らします。 STRT : 送信を開始した時に “ビツ” というビープ音を鳴らします。 BOTH : 送信を開始した時と終了した時にビープ音を鳴らします。 OFF : ビープ音は鳴りません。	OFF / END / STRT / BOTH
<b>MI</b> <sup>CG</sup>	マイク感度 マイクの感度を調節します。設定値が大きくなるほど感度が上がります。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
<b>SE</b> <sup>TM</sup>	セットモード拡張表示 EASY : “GRP” ~ “SETM” の項目のみ表示されます。 ALL : 下記の “ARTS” 以降の項目も表示されて設定することができます。 <b>下記の “ARTS” 以降の項目は、この設定を “ALL” にすると表示されます。</b>	EASY / ALL

<b>ARTS</b> <sup>SET</sup>	ARTS 機能の ON/OFF “ON” にすると、相手と通話可能な状態かを自動で確認します。	ON / OFF
<b>CL</b> <sup>BK</sup>	コールバック機能の ON/OFF “ON” にすると、相手と通話可能な状態かをビープ音と画面の表示で確認できます。 コールバック機能を使用する時は、グループ機能 (GRp) を “ON” にしてください。	ON / OFF
<b>SC</b> <sup>AN</sup>	スキャン機能の ON/OFF ON : [on▼] または [▲SET] ボタンを約 1 秒以上押すと、チャンネルが自動で変わり続け、信号のあるチャンネルで停止します。 OFF : [on▼] または [▲SET] ボタンを押している間だけ、チャンネルが自動で変わり続けます。	ON / OFF
<b>RP</b> <sup>0</sup>	オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源が切れます。 2H/8H : 約 2 時間 (2H の場合) または約 8 時間 (8H の場合) 経過すると、自動で電源が切れます。 OFF : 自動で電源は切れません。	OFF / 2H / 8H
<b>LE</b> <sup>J</sup>	LED インジケータの ON/OFF “OFF” にすると、LED インジケータが点灯しなくなります。	ON / OFF
<b>CO</b> <sup>MP</sup>	コンパンダ機能の ON/OFF “ON” にすると、相手が話している時に聞こえる「サー」というバックノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくします。相手のトランシーバーもコンパンダー機能を “ON” にしてください。	ON / OFF
<b>EM</b> <sup>GC</sup>	エマージェンシー機能の動作設定 ALAM : アラームを鳴らして緊急を知らせます。 CH : 緊急連絡用のチャンネルに切り替わります。 CL : アラームを鳴らすと同時に、自動で送信状態になります。 CL-LT : アラームを鳴らすと同時に、自動で送信状態になり、LED インジケータが点滅します。	ALAM / CH / CL / CL-LT

項目	機能	選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
<b>CH</b> <sup>SET</sup>	チャンネル番号表示方法設定 NOR : 01 ~ 11、1 ~ 9 (通常通話用チャンネル)、12 ~ 29、10 ~ 18 (中継用チャンネル) で表示します。 CMN : 01 ~ 20 (通常通話用チャンネル)、01 ~ 27 (中継用チャンネル) の連続した番号で表示します。	NOR / CMN
<b>RP</b> <sup>CH</sup>	中継器用チャンネルの ON/OFF OFF : 中継専用のチャンネルは表示されません (中継器を使用できません)。 ON : 中継専用のチャンネルが表示されるようになります (中継器を使用できます)。	ON / OFF
<b>TX</b> <sup>PP</sup>	送信出力の切替 (12 チャンネル ~ 29 チャンネルのみ有効です) 10 : 送信出力が 10mW になります。連続して送信できる時間は 3 分間です。 1 : 送信出力が 1mW になります。時間制限なく連続送信できます。	1 / 10
<b>RC</b> <sup>SET</sup>	ファスト接続機能の ON/OFF 当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮できます。中継器側のファスト機能も “ON” にする必要があります。 NOR : ファスト機能を使用しないで中継通話を行います。 QK : ファスト機能が動作して、中継器との接続時間を短縮できます。	NOR / QK
<b>SE</b> <sup>LC</sup>	個別呼び出し機能の ON/OFF と運用できる最大局数 20 : 個別コード “01” ~ “20” までの 20 局 99 : 個別コード “01” ~ “99” までの 99 局 OFF : 個別呼び出し機能は動作しません。	OFF / 20 / 99
<b>ID</b> <sup>SET</sup>	個別呼び出し機能運用時の個別コードの設定 自分の呼び出し ID 番号を選択します。	01 ~ 20 または 01 ~ 99 (上記 SELC の設定による)
<b>GRP</b> <sup>SET</sup>	個別呼び出し機能運用時のグループコードの設定 自分の呼び出しグループ番号を選択します。	G0 / G1 / G2 / G3 / G4 / G5 / G6 / G7 / G8 / G9
<b>BE</b> <sup>SET</sup>	個別呼び出し機能運用時の着信音の設定 1 / 2 / 3 : 着信音が鳴るパターンを 3 種類から選べます。ALL で呼ばれた時は、着信音は鳴りません。 OFF : 着信音は鳴らなくなります。	1 / 2 / 3 / OFF
<b>AT</b> <sup>CH</sup>	オートチャンネルセレクト機能 “ON” にすると、PTT (通話) スイッチを押した時に、使用されていないチャンネルを自動で探して相手局と交信できます。	ON / OFF
<b>SO</b> <sup>SET</sup>	スケルチレベル 信号が入感していない時の耳障りな「ザーツ」というノイズを消します。数値が大きくなるほどノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがあります。	1 / 2 / 3 / 4
<b>CL</b> <sup>SG</sup>	[CUE] ボタンの動作が CU-CS の時に表示されます。 コールサイン機能の電子音の回数設定 コールサイン機能で相手を呼び出す時の、電子音が鳴る回数を選択します。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
<b>BT</b> <sup>yp</sup>	バッテリータイプ 電池の残容量を正確に表示するために、使用中の電池の種類を設定します。 NI : オプションのニッケル水素電池 “SBR-17MH” を使う場合 AL : アルカリ乾電池を使う場合 AUTO : オプションのニッケル水素電池 “SBR-17MH” とアルカリ乾電池を自動で識別します。	NI / AL / AUTO
<b>EX</b> <sup>MG</sup>	外部マイク感度 SP/MIC 端子に接続したオプションのタイピンマイク、ヘッドセット、スピーカーマイクの感度を調節します。 =MG : トランシーバー本体のマイク感度 (MICG) と同じ感度になります。 1 ~ 6 : 数値が大きくなるほど感度が上がります。	=MG / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
<b>SB</b> <sup>CH</sup>	サブチャンネルセレクト機能の ON/OFF “ON” にすると、送信しようとしたチャンネルが使用中の場合、あらかじめ決めておいた他のチャンネル (サブチャンネル) に自動で切り替わります。	ON / OFF
<b>S</b> <sup>CH</sup>	サブチャンネルの設定 サブチャンネルセレクト機能で使用するサブチャンネル、またはマルチチャンネル待ち受け機能時に送信するチャンネルを選択します。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 01 ~ 11
<b>S</b> <sup>GP</sup>	グループコードの設定 サブチャンネルセレクト機能で使用するグループコードを選択します。	GP01 ~ GP50 D017 ~ D754
<b>SP</b> <sup>CH</sup>	スピーカー断線検出機能の ON/OFF “ON” にすると、トランシーバー本体のスピーカーや SP/MIC 端子に接続したオプション類のスピーカーが断線している場合、電源を入れると “SP-ER” を画面に表示して LED インジケータがオレンジ色で点滅します。	ON / OFF
<b>SC</b> <sup>SET</sup>	秘話機能の ON/OFF 1 / 2 / 3 : 秘話機能を設定していない (同じ数字にあわせていない) トランシーバーでは通話内容を聞き取りにくくなります。同じチャンネルで秘話機能を動作させていると、通話内容を聞かれる場合があります。 OFF : 秘話機能は動作しません。	OFF / 1 / 2 / 3

項目	機能	選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
<b>BL</b> <sup>TH</sup>	Bluetooth® 機能の ON/OFF Bluetooth® ヘッドセットを使用する機能を ON/OFF します。 ON : Bluetooth® 機能が動作し Bluetooth® ヘッドセットを使用できます。 OFF : Bluetooth® 機能は動作しません。 SAVE : Bluetooth® 機能が動作し、更に Bluetooth® ヘッドセットのバッテリー消費を少なくすることができます。	OFF / ON / SAVE
<b>BT</b> <sup>MG</sup>	“BLTH” の設定が “ON” または “SAVE” の時に表示されます。 Bluetooth® マイク感度 Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節します。 =MG : トランシーバー本体のマイク感度 (MICG) と同じ感度になります。 1 ~ 6 : 数値が大きくなるほど感度が上がります。	=MG / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
<b>BT</b> <sup>MC</sup>	Bluetooth® メモリークリア “CLR” を選んで PTT (通話) スイッチを押すと、既にペアリングしてある Bluetooth® ヘッドセットの情報を消去します。	KEEP / CLR
<b>VO</b> <sup>SET</sup>	VOX 機能の ON/OFF と感度調整 PTT (通話) スイッチを押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると自動的に受信状態に戻る VOX 機能を ON/OFF します。VOX 機能はトランシーバー本体のマイクおよび Bluetooth® ヘッドセット SSM-BT10 でのみ動作します。 1 ~ 7 : VOX 機能が動作します。“1” ~ “7” の数字は送信状態になる感度で、周囲の騒音が大きく話をしていないのに送信状態になる時は感度を下げて (設定の数値を小さく) ください。 OFF : VOX 機能は動作しません。	OFF / 1 ~ 7
<b>DL</b> <sup>RY</sup>	“VOX” の設定が “OFF” 以外の時に表示されます。 VOX 遅延時間 VOX 機能動作時、話をやめてから受信状態に戻るまでの時間を設定します。 数値を大きくするほど受信状態に戻るまでの時間が長くなります。	05 (0.5 秒) / 10 (1.0 秒) / 15 (1.5 秒) / 20 (2.0 秒) / 25 (2.5 秒) / 30 (3.0 秒)
<b>SS</b> <sup>AV</sup>	スーパーバッテリーセーブ機能の ON/OFF “ON” にすると、送信も受信もしていない時にバッテリーの消費を更に抑えてバッテリーを長持ちさせます。	ON / OFF
<b>LO</b> <sup>BT</sup>	バッテリー低電圧警告機能 ON : 電池が消耗して電池マークが点滅表示されると、約 10 分毎にビープ音を鳴らします。 OFF : 電池が消耗しても、警告は行いません。	ON / OFF
<b>CB</b> <sup>SET</sup>	CUE アラーム音の設定 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音のパターンを A、B、C の 3 種類から選べます。 SP A / SP B / SP C : 常にスピーカーからアラームが鳴ります。イヤホンやヘッドセットからはアラームは鳴りません。 A / B / C : スピーカーまたはイヤホンやヘッドセットからアラームが鳴ります。	SP A / SP B / SP C / A / B / C
<b>CV</b> <sup>AL</sup>	CUE アラーム音量設定 CUE 信号を受信した時のアラームの音量を設定します。 1 / 2 / 3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。 OFF : アラーム音は鳴らなくなります。	OFF / 1 / 2 / 3
<b>CL</b> <sup>ED</sup>	CUE 受信時の LED 設定 CUE 信号を受信した時の、LED インジケータの点灯 / 点滅の状態を設定します。 1 : 点灯します。 2 / 3 / 4 / 5 : 点滅します。点滅のしかたが異なる 4 種類から選べます。 OFF : 点灯や点滅はしなくなります。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
<b>SK</b> <sup>PT</sup>	マルチチャンネル待ち受け機能時のスキップタイム 一時的に待ち受け受信の対象を外した時、再び待ち受け受信の対象になる条件を設定します。 3MIN : 3 分経過するか電源を切るまで待ち受け受信対象から外れます。3 分経過するか再び電源を入れると待ち受け受信の対象に戻ります。 POFF : 電源を切るまで待ち受け受信の対象から外れます。再び電源を入れると待ち受け受信の対象に戻ります。	3MIN / POFF
<b>TX</b> <sup>CH</sup>	マルチチャンネル待受受信時の送信チャンネル LSTB : 最後に通話または表示したチャンネルで送信します。 S-CH : サブチャンネルの設定 (S-CH) で設定したチャンネルで送信します。 DR : 表示されているチャンネルとサブチャンネルの設定 (S-CH) で選択したチャンネルを交互に受信する “デュアルレシーブ機能” が動作します (相手と同じグループコードを S-GP に設定してください)。	LSTB / S-CH / DR
<b>TO</b> <sup>NE</sup>	秘話機能が動作しているときは表示されません。 音質切替 NOR : 標準的な音質になります。 HIGH : 高域が強調された音質になります。	NOR / HIGH

## 設定を他のトランシーバーにコピーする (クローン機能)

設定した内容を、ワイヤレスで他の複数台のトランシーバー\*に一斉コピーできます。

\* SRS220**▲**/SRS210**▲**/SR200**▲**/SRS220S**▲**/SRS210S**▲**



- 注意**
- ・雑音の多い場所でクローン機能を実行した場合、正常にコピーできない場合があります。
  - ・送り側と受け側を 1m 以内に近づけてクローン機能を実行してください。
  - ・クローンを数回行っても正常にコピーされない場合は、当社国内営業部（電話：03-6711-4055）にお問い合わせください。

### ■ クローンの準備をする

送り側（クローン元）と受け側（クローン先）の全てのトランシーバーに以下の操作を行います。

1. 電源を切ります。
2. [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [CUE] ボタンを長押しします。  
画面に“CLON”が表示されます。



### ■ クローンを行う

#### ◎ 送り側（クローン元）

PTT（通話）スイッチを押します。

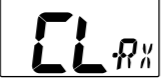
画面に“CL-TX”が表示されて、設定データを送出します。



#### ◎ 受け側（クローン先）

操作は不要です。

送り側が送出した設定データを受信すると画面に“CL-RX”が表示されて、設定内容が正常にコピーされると「ピピッ」と音が鳴り、通常の画面に戻ります。



**補足** 通常の画面に戻らずに「ププッ」と音が鳴り“CLONE”の表示画面に戻った時は、初めからやり直してください。

クローンを終了する時は、送り側と受け側の電源を切ります。

## 正常に動かない時（オールリセット）

ボタンを押しても反応しない時や、「故障かな？と思うまえに・・・」の項目に従って点検しても正常に動作しない時は、次の操作で本機をオールリセットしてください。

**注意** オールリセットを行うと、登録および設定した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

1. 電源を切ります。
2. [ON▼]/[CUE]/[▲SET] のボタンを同時に押しながら電源を入れます。
3. 「ピッ」と鳴り、オールリセットは終了します。

## 故障かな？と思うまえに・・・

間違った操作をしていませんか？  
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

- ◎ 電源が入らない！
  - ・電池は正しく入れてありますか？
  - ・電池が消耗していませんか？
- ◎ 送信できない！
  - ・PTT（通話）スイッチを正しく押していますか？
  - ・送信禁止機能が ON になっていませんか？
  - ・相手が話し中ではありませんか？
  - ・信号を受信して LED インジケータが緑色に点灯している時は送信できません。
  - ・外部マイク使用の場合、接続部分をきちんと最後まで締めこまれていますか？
- ◎ 通話できない！
  - ・相手と同じ通話モード（ノーマルモード、グループモード）に設定していますか？
  - ・相手と同じチャンネルに設定していますか？
  - ・相手と同じグループ番号に設定していますか？
  - ・相手との距離が離れすぎていませんか？
- ◎ 勝手に電源が切れる！
  - ・オートパワーオフ機能が設定されていませんか？
  - ・電池が消耗していませんか？
- ◎ グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる！
  - ・モニター機能になっていませんか？
  - 一度電源を切り、再度電源を入れると解除されます。
  - ・他の人も同じグループコードや DCS コードを使用している場合があります。
  - グループコード、DCS コードを変えてください。
- ◎ CUE 機能、個別呼び出し機能、クローン機能が動作しない！  
SRS220**▲**などの**▲**シリーズと旧機種 SRS220/SRS210/SR200 との間では動作しない場合があります。旧機種のソフトウェアのアップデートを行うことにより**▲**シリーズとの互換性を持たせることができますので、必要な場合は当社国内営業部（電話：03-6711-4055）にお問い合わせください。

## オプション

- ◎ Bluetooth® ヘッドセット.....SSM-BT10
- ◎ ニッケル水素電池.....SBR-17MH
- ◎ 急速充電器（AC アダプタ付属）.....SAD-3915A
- ◎ 連結型充電器（AC アダプタ SAD-50A が必要です）.....SBH-40
- ◎ 連結型充電器用 AC アダプタ.....SAD-50A
- ◎ 工事ヘルメット用ヘッドセット.....SSM-60H\*
- ◎ インターコム型ヘッドセット.....SSM-68H\*  
※：PTT ケーブル SCU-11 を接続して本体に装着します。
- ◎ PTT ケーブル.....SCU-11
- ◎ VOX ヘッドセット.....SSM-64A
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（ストレートコードタイプ）
  - 耳かけ式オープンエア型.....SSM-59ASA
  - オープンエア型.....SSM-59BSA
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-59CSA
  - カナル型.....SSM-59DSA
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（カールコードタイプ）
  - 耳かけ式オープンエア型.....SSM-59ACA
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-59CCA
- ◎ 小型タイピンマイク（耳かけイヤホンタイプ）.....MH-381A4B
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（イヤホン交換が可能）
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-58ASA
  - 耳かけ式カナル型（イヤホン：ブラック）.....SSM-58BTA
  - 耳かけ式カナル型（イヤホン：グレー）.....SSM-58CTA
- ◎ 小型タイピンマイク（耳かけイヤホンタイプ）.....EK-313-107
- ◎ 防浸型スピーカーマイク.....MH-73A4B
- ◎ スピーカーマイク.....SSM-17H
- ◎ ブームマイクイヤホン（耳かけイヤホンタイプ）.....SSM-510SA
- ◎ イヤホン（ストレートコードタイプ）
  - 耳かけ式オープンエア型.....SEP-41ASA
  - オープンエア型.....SEP-41BSA
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-41CSA
  - カナル型.....SEP-41DSA
- ◎ イヤホン（カールコードタイプ）
  - 耳かけ式オープンエア型.....SEP-41ACA
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-41CCA
- ◎ イヤホン（SSM-58 用交換イヤホン）
  - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-42ATH
  - 耳かけ式カナル型（ブラック）.....SEP-42BTH
  - 耳かけ式カナル型（グレー）.....SEP-42CTH
- ◎ イヤホンアダプタ（φ 3.5mm ミニプラグイヤホン接続用）...SCU-12
- ◎ キャリングケース.....SHC-39
- ◎ ワンタッチリリースホルスター.....SHB-22

## 定格

送受信周波数（12.5kHz ステップ）  
交互通話（単信）  
1ch ~ 9ch：422.2000MHz ~ 422.3000MHz  
01ch ~ 11ch：422.0500MHz ~ 422.1750MHz  
中継装置使用時（半複信）  
10ch ~ 18ch：送信 440.2625MHz ~ 440.3625MHz  
受信 421.8125MHz ~ 421.9125MHz  
12ch ~ 29ch：送信 440.0250MHz ~ 440.2375MHz  
受信 421.5750MHz ~ 421.7875MHz

電波型式 : F3E, F2D  
通信方式 : 単信方式および半複信方式  
送信出力 : 10mW 以下  
受信感度 : - 13dBμV 以下 (@ 12dB SINAD)  
低周波出力 : 60mW 以上 (@ 4 Ω, 10% 歪時) 電源電圧 1.5V 時  
動作温度範囲 : - 10℃ ~ + 50℃  
定格電圧 : DC 1.2V (動作範囲 0.95V ~ 1.7V)  
本体寸法 : 約 47 × 80 × 22mm  
(幅×高さ×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず)  
本体重量 : 約 88g (SRS210**▲**) (電池、ベルトクリップを除く)  
約 89g (SRS220**▲**) (電池、ベルトクリップを除く)  
約 88g (SR200**▲**) (電池、ベルトクリップを除く)  
約 85g (SRS210S**▲**) (電池、ベルトクリップを除く)  
約 86g (SRS220S**▲**) (電池、ベルトクリップを除く)

※この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

※ RoHS 指令準拠

## アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

### 八重洲無線株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

TEL：03-6711-4055

- ◎ 保証期間はお買い上げの日より 1 年間です。  
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 1 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。  
過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
- ◎ 保証書は大切に保管してください。  
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。  
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入していない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

Printed in China

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。